

年 番 氏名

「わしの助役は、厄よけの方の『除厄』である。悪いことは何でも背負い込んでいくから、諸君はふりむく必要はない」。戦後の①フツコウ（　）期、名古屋市の助役として腕をふるつた（1）田淵寿郎（じゅろう）は就任の②クンジ（　）で市職員を励ました▼田淵は先駆的な都市設計で知られる。「（A）大ぶろしき」とあだ名されたが、自動車社会の到来を見越して市街地を③買収（　）。道路や公園の用地にあてた。10年あまり助役を務め、地下鉄や④コウワン（　）の整備にも力を注ぐ。暮らし向きはいたつて⑤質素（　）だった（本多静雄編著『男の生き方 田淵寿郎伝』）▼一口に助役と言つても、仕事ぶりは⑥一様（　）ではない。公表された福井県高浜町の元助役をめぐる関西電力の報告書を読んでいささか驚く。原子力部門の幹部らに届けた品々のリストがすさまじい。現金や商品券、ストック立券のほか、小判、金貨、金杯まで贈つている▼菓子の贈答袋の底に金品を忍ばせたというから、さながら時代劇である。返そうとする相手には「無礼者」と怒鳴つたという⑦キサイ（　）もあつて、報告書は實に生々しい▼明治以来、自治体のナンバー2として助役は地方行政の⑧要（　）だった。法改正で2007年以降は、副市町村長と呼び名が変わつたが、これまで取材でお目にかかつた助役はどなたも（B）清廉（　）（C）実直（　）（D）テガタ（　）い仕事ぶりが記憶にある▼助役をめぐる⑩ゼンダイミモン（　）の金品工作が（D）白日の下にさらされた。こみいつた事情は多々あつたようだが、原発とはそこまでしないと維持できないしろものなのか。改めて考え込んだ。「2019年10月3日「天声人語」」

問一 ①～⑩のカタカナ部は漢字に直し、傍線部は読みを書き入れなさい。

問二 （A）～（D）の言葉の意味を答えよう。

- （A）「大ぶろしき」（　）
- （B）「清廉」（　）
- （C）「実直」（　）
- （D）「白日の下にさらされた」（　）

問三 傍線部（1）の人物が引用された理由を30字程度で考えてみよう。

問四 次の文章を読み、後の問1～問3に答えよう。

・電力会社のトップ、立地自治体の幹部、原発関連工事を請け負う地元企業の三者で、電力会社発注の工事代金の一部を受注企業から地元自治体幹部へ「ロングラング」し、電力会社トップへ「キックバック」していた。この表現に異議を主張できる関係者はいないのではないか。（10月3日「声」より）

問1 「ロングラング」の意味を答えよう。

問2 「キックバック」の意味を答えよう。